

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・国語】

1 出題範囲、領域等

高等学校第1学年を対象とした国語総合の模擬授業を行う。課題は次のとおりです。

【課題】

1. 「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」のいずれかの領域で行うこと。
2. 次の3編の詩のうちのいずれか1編を本単元で扱う主たる教材とすること。
 - ① 「I was born」(吉野弘)
 - ・教科書：『精選国語総合』p. 122～125
(文部科学省検定済教科書 高等学校国語科用 2東書 国総333) 他
 - ② 「シジミ」(石垣りん)
 - ・教科書：『明解国語総合 改訂版』p. 52～53
(文部科学省検定済教科書 高等学校国語科用 15三省堂 国総339)
 - ③ 「喪失ではなく」(吉原幸子)
 - ・教科書：『精選国語総合 現代文編 改訂版』p. 160～161
(文部科学省検定済教科書 高等学校国語科用 143筑摩 国総355)
3. 「言葉の力」(大岡信)を本単元で扱う補助教材とすること。
 - ・教科書：『新 探求国語総合 現代文・表現編』p. 79～87
(文部科学省検定済教科書 高等学校国語科用 212桐原 国総363)
4. 模擬授業では学習のねらい(目標)を明示して、単元計画の導入部分を行うこと。

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**6分間**です。(構想の時間はありません。)
- ※② 教室には生徒が30人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したものととして始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等を行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ 教科書等は模擬授業では使用できません。
- ※⑧ 模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。

裏面に続く

2 当日持参するもの

授業を行う際に授業者が必要と考えた教具等については、事前に作成し、各自が持参して模擬授業での使用を可とする。

※課題となる詩3編及び「言葉の力」の全文資料は、当日、教室に準備してあります。

※教科書は、都道府県が設置する教科書センターで閲覧することができます。

- ・都道府県が設置する教科書センター一覧

(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/center.htm)

Kyosai-guide.jp

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・地理歴史】

1 出題範囲、領域等

平成21年3月 告示 高等学校学習指導要領（地理歴史）
第2 世界史B
2 内容
（4）諸地域世界の結合と変容
イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界

単元名 ルネサンス

2 課題

【課題】 「ルネサンス」について、既習事項を踏まえて授業の「導入」を6分間行うこと。

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**6分間**です。（構想・準備の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が40人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したものと
始めてください。
- ※④ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等を行わないでください。
- ※⑤ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑥ 模擬授業終了後に、**模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

3 当日、各自が持参して模擬授業で使用できるもの

- ・特になし
- ※各自が持参した一切の教材・道具類の使用は禁止します。

4 当日、模擬授業に用意されているもの

- ・教科書は、『詳説世界史 改訂版』（山川出版社）を準備しています。
- ・課題の単元「ルネサンス」について上記教科書（205 p～209 p）のコピーを1人1部
準備しています。（新型コロナウイルス感染症対策のため）
- ・単元以外のページも使用する場合は、教卓に用意している上記教科書を使用可とします。
- ・チョークについては、教室内に準備してあります。

※教科書は、都道府県が設置する教科書センターで閲覧することができます。

- ・都道府県が設置する教科書センター一覧
(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/center.htm)

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・公民】

1 出題範囲、領域等

「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」「第2章 各学科に共通する各教科」「第3節 公民」「第2款 各科目」「第2 倫理」「2 内容」「B 現代の諸課題と倫理」の（2）社会と文化に関わる諸課題と倫理から出題するものとする。

学習指導案（別紙）について、生徒の興味・関心をひきつける当該授業の「導入」を行うこと。

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**7分間**です。（構想の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が**30人**いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したものととして始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等は行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ 教科書等は模擬授業では使用できません。
- ※⑧ 模擬授業終了後に、**模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

2 当日持参するもの

一切の教材・教具類の持ち込みを禁止する。

※チョークについては、教室内に準備してあります。

倫理 学習指導案

1. 単元名 第〇編 現代社会と倫理
第〇章 現代の諸課題と倫理
人類の福祉と国際平和

2. 本時の学習指導

(1) 本時のねらい

- ①
- ②
- ③

(2) 本時の学習計画

過程	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入 (7分)	※模擬授業は導入のみ		
展開 (〇分)	(省略)	(省略)	(省略)
まとめ (〇分)	(省略)	(省略)	(省略)

【高等学校・数学】
令和3年度実施 模擬授業の課題

1 課題

高校1年生を対象に、以下の問題の解説をした。

問題 「6人の生徒を2人，2人，2人の3組に分ける方法は何通りあるか求めよ。」

ある生徒から「6人の生徒を、部屋A, B, Cに2人ずつ入れる場合との違いが分からない。」と質問があった。クラス全体も同様に感じているようだったので、全体に向けて、あらためて説明することにした。

その授業場面を行ってください。

※①模擬授業を行う時間は**7分間**です。（構想の時間はありません。）

※②教室には生徒が30人いると想定して授業を行ってください。

※③号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したものと始めてください。

※④机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明し、実際には行わないものとします。

※⑤面接官は生徒役ではありませんので、指名等を行わないでください。

※⑥板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。

※模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。

※2次試験会場の教卓に、本用紙（事前配付資料（1次合格者への通知用））と同じものを置いておきます。

2 当日持参するもの

「数学A」の教科書

（出版社は指定しない。また、教室には一切の教材・道具類の持ち込みを禁止する。なお、チョークについては、教室内に準備してあります。）

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・理科（物理）】

1 出題範囲、領域等

本時は、物理基礎「仕事と力学的エネルギー」の単元において、力学的エネルギー保存則の検証実験を行い、各グループとも実験結果について記録と整理を終え、これから考察を行う場面である。

生徒の実験結果を踏まえ、力学的エネルギー保存則の式の理解につなげる授業を行ってください。

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**7分間**です。（構想の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が30人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したものと始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等を行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ 教科書等は模擬授業では使用できません。
- ※⑧ **模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

2 当日持参するもの

特になし

※チョークについては、教室内に準備してあります。

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・理科（化学）】

1 出題範囲、領域等

高等学校 学習指導要領（平成30年告示） 第2章 第5節 理科
第4 化学基礎 2 内容 (1) ア (7) ④ 物質の分離・精製 から
「赤ワインの分留の実験」について出題する。

本時は、化学基礎「物質の分離・精製」単元の2時間目（実験）とします。

○導入：①出席確認は終了している。

②3名1グループの班をつくり、各班に実験器具の配布は終了している。

③赤ワインの蒸留について、実験・観察の説明を行う。

○模擬授業：7分間で、以下のことを行ってください。

④リービッヒ冷却器、枝付きフラスコ等の器具を用いた蒸留装置を組み立てて
ください。その際、生徒も同時に組み立てることができるよう、注意点等の
説明を行ってください。

⑤組み立てが完了し、生徒の様子を確認し終わったら、今回の蒸留の実験・観察
について、注意事項等の説明を行ってください。

【注意事項】

※① 模擬授業を行う時間は**7分間**です。（構想の時間はありません。）

※② 教室には生徒が30人いると想定して授業を行ってください。

※③ 号令，出席確認，学習規律に関する指導，宿題の点検などは終了したものと
始めてください。

※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、
実際には行わないものとします。

※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等は行わないでください。

※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。

※⑦ 教科書等は模擬授業では使用できません。

※⑧ 模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。

2 当日持参するもの

特になし

※チョークについては、教室内に準備してあります。

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・理科（生物）】

1 出題範囲、領域等

「高等学校 生物基礎」（ヒトの体の調節）の領域から出題するものとする。

2 課題

「免疫」の授業において、「アレルギー（免疫の異常反応）」について、生徒に気付かせる当該授業の「導入場面」を行ってください（出席点呼不要）。

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**5分間**です。（構想の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が**30人**いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したものととして始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等は行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ **模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

3 当日持参するもの

高等学校 「生物基礎」の教科書及び「生物図表」（出版社不問）、教材・教具類も可

※チョークについては、教室内に準備してあります。

令和3年度実施 模擬授業（保健）の課題
【高等学校 保健体育】

1 出題範囲、領域等

高等学校学習指導要領（平成30年告示）の保健(2)安全な社会生活（イ）応急手当 心肺蘇生法についての内容で、授業終盤の「まとめ・振り返り」の授業を行う。（授業の導入・展開まで行ったものとして、授業を始めて下さい。）

※ 模擬授業の開始前に、「本時のめあて」を黒板に板書する。（担当から指示があります）

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は、授業のめあてを黒板に板書した後、**5分間**です。
- ※② 教室には生徒が**35人**いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 生徒の出席確認は終了したものとして始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等は行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ 模擬授業終了後に、**模擬授業に関する内容についての質疑応答を行います。**

2 当日、各自が持参して模擬授業で使用できるもの

高等学校保健体育の教科書（出版社は問わない）。
但し、赤文字入りの指導書は除く。

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・英語】

1 出題範囲、領域等

事前に配付する別添の英文パッセージを読み、単元の最後にある文法項目のうち、1つを選んで模擬授業の臨んでください。模擬授業では、選択した文法項目に関する「導入」の部分を行い、以下の点に留意した活動を行ってください。

○模擬授業は新学習指導要領（H30年告示）に則り、すべて英語で行ってください。

○生徒とインタラクションをとりながら、どのようなことを行うのか、わかりやすく明確に指示をだしてください。

○選択した文法項目に関連する活動にしてください。

○事前に準備した模造紙1枚分の掲示物の持ち込みができます。授業の中でうまく活用してください。掲示物、板書に関しては、評価の対象とします。

【提示英文】 Revised Element English Communication I より抜粋

【注意事項】

※① 模擬授業を行う時間は**5分間**です。（構想の時間はありません。）

※② 教室には生徒が30人いると想定して授業を行ってください。

※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したものと始めてください。

※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。

※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等を行わないでください。

※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。

※⑦ 事前に配付した教科書のコピーは持ち込みできません。当日メモ書きされていないコピーをお渡しします。

※⑧ 模擬授業前にALTとの英語でのやりとり、模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。

2 当日持参するもの

① 模造紙1枚分の掲示物

サイズは一般的な788 × 1091 mmの四六判とします。1枚分を大きく使っても、小さく切り分けて使ってもかまいません。

3. 当日の流れ

① ALTとの英語でのやりとり（2分程度）

② 模擬授業（5分）

③ 模擬授業について日本語での質疑応答（授業の振りかえり30秒を含む）

④ 日本語での面接

Bopsy

Part 1

The 26-year-old mother looked down at her son who was dying of leukemia. Although her heart was filled with sadness, she also had a strong feeling of determination. Like any parent, she wanted her son to grow up and fulfill all his dreams. Now it seemed to be impossible. The leukemia would see to that, but she still wanted her son's dream to come true.

She took her son's hand and asked, "Bopsy, did you ever think about what you wanted to be when you grow up? Did you ever dream and wish about what you would do with your life?"

"Mommy, I wish I could become a firefighter."

His mother smiled back and said, "Let's see if we can make your wish come true." Later that day she went to her local fire department in Phoenix, Arizona. There she met Firefighter Bob, who had a heart as big as Phoenix. She explained her son's final wish and asked if it might be possible to give her six-year-old son a ride around town on a fire engine.

Part 2

Firefighter Bob said, "Look, we can do better than that. If you'll have your son ready at seven Wednesday morning, we'll make him a one-day firefighter for the whole day. He can come down to the fire station, eat with us, go out on all the fire calls, the whole nine yards! And, if you'll give us his sizes, we'll get a real fire uniform made for him, with a real fire hat—not a toy one—with the emblem of the Phoenix Fire Department on it, a yellow coat like we wear, and rubber boots. They're all manufactured right here in Phoenix, so we can get them fast."

Three days later Firefighter Bob picked up Bopsy, dressed him in his fire uniform and brought him from his hospital bed to the waiting hook-and-ladder truck. Bopsy got to sit up on the back of the truck and went back to the fire station as if he were the chief. He was in heaven.

There were three fire calls in Phoenix that day, and Bopsy got to go out on all three calls. He rode in the different fire engines, the paramedics' van, and even the fire chief's car. He was also on a local news program.

He was so touched by what his parents and the firefighters did for him that he lived three months longer than any doctor thought possible.

Part 3

One night all of his vital signs began to drop dramatically, and the head nurse, who believed in the hospice concept that no one should die alone, began to call the family members to the hospital. Then she remembered the day Bopsy had spent as a firefighter, so she called the fire chief and asked if it would be possible to send a firefighter in uniform to the hospital to be with Bopsy as he made his transition. The chief replied, "We can do better than that. We'll be there in five minutes. Will you please do me a favor? When you hear the sirens screaming and see the lights flashing, will you announce over the PA system that there is not a fire? Tell people

in the hospital that the fire department is coming to see one of its finest members one more time. And will you open the window to his room? Thanks.”

About five minutes later a hook-and-ladder truck arrived at the hospital and extended its ladder up to Bopsy’s third floor window, which was open. Firefighter Bob climbed into the room. Then, one by one, four other firefighters climbed up to Bopsy’s third-floor window to give him a wave.

Part 4

Bopsy was so happy. He looked up to his mother. “You know, Mom,” he said. “I’d really like to go down to see them. I want to be out there with my team.” When Bopsy was wheeled downstairs, he was met by the members of Fire Station 1 and their truck—renamed “B1” for “Bopsy 1.” The firefighters then took the ladder and raised it as high as it would go. One of them climbed to the top. “It looked as if he were saying, ‘Look, you’re on your way to heaven,’” Bopsy’s mother recalled.

Toward the end of the visit, Bopsy turned to Firefighter Bob. “Am I a real firefighter?” he asked. “Well, yeah,” Bob replied. “Of course you are.” Bopsy passed away the next morning.

Even now Bopsy’s mother often thinks of the moment a few weeks before Bopsy passed away. At that time he seemed to realize how upset she was about his condition and tried to console her. “I’m going to be fine. I’m always going to be your guardian angel,” he told her. “I’ll be part of the galaxy and part of the heavens, and I’ll take care of you.” And he has. “My son is alive and well,” his mother says, “in so many people’s minds.”

Grammar and Structure

G-A 仮定法を含む表現 (1) : V+as if +仮定法過去／仮定法過去完了

▶「まるで～のように」「まるで～だったかのように」など、現在あるいは過去について現実とは異なることを仮定する。

1. Bopsy went back to the fire station **as if he were** the chief.
2. It looked **as if he were** saying, "Look, you're on your way to heaven."
3. He felt **as if he had done** something wrong.

Q 日本語の意味になるように、() 内から適切な語句を選びなさい。

1. 彼は自分がマラソン選手であるかのように走った。
He ran as if he (a. were b. had been) a marathon runner.
2. 彼女は、前日に自分の足を折ってしまったかのようにふるまった。
She behaved as if she (a. broke b. had broken) her leg the previous day.

G-B 仮定法を含む表現 (2) : wish + 仮定法過去／仮定法過去完了

▶「～ならいいのに」「～だったらよかったのに」など、現在あるいは過去について現実とは異なることを強く願う。

1. I **wish I could** become a firefighter.
2. I **wish I had bought** that house then.

Q 次の分を <wish + 仮定法> の文に書きかえなさい。

1. I want to have two computers.
2. I didn't learn Korean.

G-C seem [appear] to do

▶「～のように見える[思える]」で、It seems that...を用いて表すことも出来る。

1. It **seemed to** be impossible.
= **It seemed that** it was impossible.
2. He **seemed to** realize how upset she was about his condition.
=**It seemed that** he realized how upset she was about his condition.
3. The boy **appears to** have been injured.
= **It appears that** the boy was injured.

Q () 内の内容を付け加えて、文を完成させなさい。

1. She seems (she is kind to everyone).
2. He appears (he was in bad health).

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・情報】

1 課題

コンピュータによるプログラミングやシミュレーションを利用した問題解決について、身近な事例を取り上げて興味・関心を持たせながら、プログラミングやシミュレーションを学ぶ意義を理解させる授業の導入を行いなさい。

2 出題範囲、領域等

科目「情報の科学」の内容「(2) 問題解決とコンピュータ」の範囲から出題する。

3 当日持参するもの

- ・科目「情報の科学」の教科書
- ・授業用スライド（パワーポイントで作成）のデータ（PDFファイルに変換したもの）を保存したUSBメモリ（事前にウイルスチェックを行ったUSBメモリを使用すること）
- ・授業用スライド（パワーポイントで作成）のデータをカラーでプリントアウトしたものの（3部+予備1部）

※模擬授業を行う時間は**7分**です。

※生徒がいるものと想定して授業を行ってください。

※3人の面接官は生徒役ではありません。

※生徒の出席確認は終了したのものとして始めてください。

※板書に必要なチョーク、ホワイトボードマーカーを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。

※机間指導の部分は、『ここで机間指導をします』と説明し、実際には行わないものとします。

※持参した授業用スライドのデータが正しく表示されない場合は、プリントアウトしたものを利用して授業を行ってください。

※模擬授業終了後に模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・農業】

1 出題範囲、領域等

- * 「農業と環境」における栽培と飼育のプロジェクトの「ニワトリ」について出題するものとする。
- * ニワトリの生育過程は、すでに学習したものとする。
- * 実物教材を使って「展開」の部分から模擬授業を行い、本授業後にプロジェクト学習法を用いて飼育実習を行うこととする。

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**7分間**です。(構想の時間はありません。)
- ※② 教室には生徒が40人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したものとして始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等を行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ 教科書等は模擬授業では使用できません。
- ※⑧ **模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

2 当日持参するもの

- * 教室には一切の教材・教具類の持ち込みを禁止する。
- * チョークについては、教室内に準備している。

【事前配布資料】

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・工業（機械）】

1 出題範囲、領域等

出題範囲：科目名「機械工作」

「数値制御工作機械」の「マニュアルプログラミング」において、配布されている「プロセスシート」について生徒の興味・関心を引きつける授業を行ってください。

【注意事項】

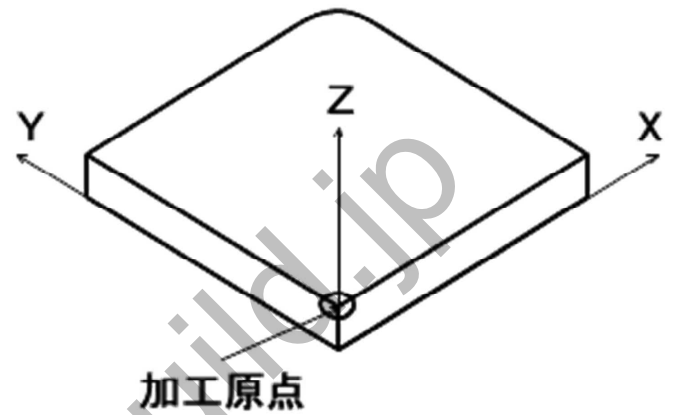
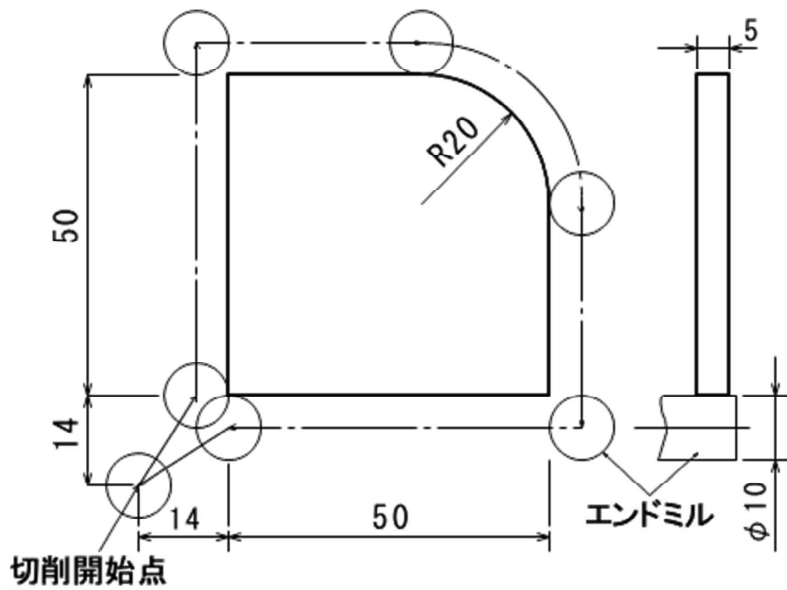
- ※① 模擬授業を行う時間は**7分間**です。（構想の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が30人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令，出席確認，学習規律に関する指導，宿題の点検などは終了したものと
始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、
実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等を行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ **模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

2 当日持参するもの

科目「機械工作」の教科書（出版社は問わない）

※当日使用する「プロセスシート」は事務局で準備するので、配布されている「プロセスシート」は持参しないこと。

※チョーク、マグネットについては、教室内に準備してあります。



(a) 製作図と工具経路

(b) 座標系

No.	G	X, Y, Z, R	F, S	M	H
1	G90				
2			S860	M03	
3	G00	X-14. Y-14.			
4	G43	Z10.			H01
5	G01	Z-6.	F100		
6	G41	X0. Y0.			H21
7		Y50.			
8		X30.			
9	G02	X50. Y30. R20.			
10	G01	Y0.			
11		X0.			
12	G40	X-14. Y-14.			
13	G00	Z10.			
14				M05	
15				M30	

(c) プロセスシート (使用するエンドミル: $\phi 10$)

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・工業（電気）】

1 出題範囲、領域等

科目「電力技術」の内容にある、「自動制御」の単元シーケンス制御の基本論理回路について、生徒の興味・関心をひきつける1時間目の導入を行って下さい（出席確認は終了したものととして、始めて下さい）

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**7分間**です。（構想の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が30人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令，出席確認，学習規律に関する指導，宿題の点検などは終了したものととして始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等は行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ **模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

2 当日持参するもの

科目「電力技術」の教科書（出版社は問わない、複数に分かれている場合は全て）、筆記用具

※チョークについては、教室内に準備してあります。

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・工業（建築）】

1 出題範囲、領域等

科目「建築計画」

「建築と環境」の「換気と通風」の「換気」について授業して下さい。

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**7分間**です。（構想の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が30人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令，出席確認，学習規律に関する指導，宿題の点検などは終了したものと
始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、
実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等を行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ **模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

2 当日持参するもの

科目「建築計画」の教科書（出版社は問わない）

※チョークについては、教室内に準備してあります。

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・工業（土木）】

1 出題範囲、領域等

科目「土木基礎力学」の梁の外力に関することから出題する。前授業において「支点の種類と梁の種類」は既習済みである。本時の授業は「静定梁の反力」の「単純梁の反力」の内容である。導入、展開、まとめのうち、導入の部分の授業を行ってください。

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**7分間**です。（構想の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が30人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したものととして始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等は行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ **模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

2 当日持参するもの

科目「土木基礎力学」の教科書（出版社は問わない）

※チョークについては、教室内に準備してあります。

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・商業】

1 出題範囲、領域等

- 1 科目「ビジネス実務」の「税の申告と納付」の内容のうち、法人税の所得金額の計算における税務調整について、生徒の理解や思考を深めるための発問を行いながら、わかりやすく説明しなさい。
- 2 生徒の状況
 - ①対象生徒 2年生
 - ②人数 40名
- 3 板書計画書を事前に作成し、当日提出すること。
 - ・板書計画書には、使用教科書の出版社を記載すること。
 - ・板書計画書は、6分間の内容とすること。

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**6分間**です。（構想の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が40人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したものと始めてください。
- ※④ 板書計画書に記載した内容は、板書したものと**して授業を行ってよい**。
- ※⑤ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑥ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等は行わないでください。
- ※⑦ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑧ **模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

2 当日持参するもの

- 1 板書計画書
 - (1) A4用紙1枚（横置き、片面のみ）にまとめ、4部準備すること。（受験者及び試験官用）
 - (2) 白黒印刷とする。
- 2 科目「ビジネス実務」の教科書（出版社は問わない）

※チョークについては、教室内に準備してあります。

令和3年度実施 模擬授業の課題
【中学校・高等学校 音楽】

1 出題範囲、領域等

- ・表現領域「歌唱」の授業、第一次1時間 授業展開の導入部分の授業を行うこと。
- ・歌唱教材については、任意の楽曲とする。
- ・授業の冒頭において、既習曲を歌う活動を設定し、教師はピアノ伴奏（ピアノ演奏）を行うこと。なお、既習曲は「夢の世界を（芙龍明子 作詞／橋本祥路 作曲）」とし、1番のみ演奏する（リピート不要）。教師による範唱は不要。

【注意事項】

- ※① 全ての活動において、マスクを着用したまま実施すること。
- ※② 模擬授業の時間は**7分間**とする。（構想の時間はありません。）
- ※③ 教室には生徒が**30人**いると想定して授業を行うこと。
- ※④ 号令，出席確認，学習規律に関する指導，宿題の点検などは終了したのものとして始めること。
- ※⑤ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとする。
- ※⑥ 面接官は生徒役ではないので、指名等は行わないこと。
- ※⑦ 板書用チョーク、掲示用マグネットは準備するので、必要に応じて利用してよい。
- ※⑧ **模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。**

2 当日持参するもの

- ・各自必要と思われる教科書等資料
- ・掲示物（任意）

※チョークについては、教室内に準備してあります。

令和3年度実施 模擬授業の課題
【中学・高等学校・美術】

1 出題範囲、領域等

中学校学習指導要領 第6節 美術 第3章 第2学年及び第3学年の「B鑑賞」
「イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動を通して鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」

2 課題

「生活や社会の中の美術の働き」についての鑑賞の授業です。
生活の中にある製品を見ながら話し合い活動を行います。（製品は手に持てる程度の実物を想定して行うこと）※⑧
その1時間目の導入の部分を行いなさい。ただし、対象学年は3学年とします。
（出席確認は終了したのものとして、始めて下さい）

【注意事項】

- ※① 模擬授業を行う時間は**7分間**です。（構想の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が30人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したのものとして始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等は行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョークを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ 教科書等は模擬授業では使用できません。
- ※⑧ 製品を想定して模擬授業を行ってください。持参する必要はありません。
- ※⑨ 模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。

3 当日持参するもの

なし

※チョークについては、教室内に準備してあります。

令和3年度実施 実技試験課題
【高等学校・美術】

1 課題

- ・黒の鉛筆を用いて、デッサンを行う。
- ・陰影をつけた写実的な表現とする。
- ・モチーフが画面からはみ出るような構図にはしないこととする。
- ・画用紙は縦横どちらで使用してもよい。
- ・定規は使用しないこととする。
- ・以下の2つのモチーフを用いて、受験者自らが配置を行う。
円筒形で無色透明のガラス（ガラス製のコップ）1個
15 cm × 15 cm の無地・白色の布1枚

【注意事項】

- ※① 個人面接終了後に実技試験を実施します。（教室移動有）
- ※② 実技試験時間は40分です。

2 当日持参するもの

鉛筆、消しゴム

令和3年度実施 模擬授業の課題
【高等学校・家庭】

1 出題範囲、領域等

本時の授業は、学習指導要領（平成30年7月告示） 科目「家庭総合」でのA 人の一生と家族・家庭及び福祉「(4) 高齢者との関わりと福祉」の授業です。

認知症への理解や対応方法について授業を行うとした場合、本時のめあてを示した上で、学習の振り返りも含めてまとめ部分の授業を行ってください。なお指導計画は2時間で設定することとし、認知症以外の加齢に伴う心身の変化については、既習事項とします。

【注意事項】

- ※① 準備時間1分間、模擬授業を行う時間は5分間です。（構想の時間はありません。）
- ※② 教室には生徒が40人いると想定して授業を行ってください。
- ※③ 号令、出席確認、学習規律に関する指導、宿題の点検などは終了したのものとして始めてください。
- ※④ 机間指導については、『ここで机間指導をします』と説明だけして、実際には行わないものとします。
- ※⑤ 面接官は生徒役ではありませんので、指名等は行わないでください。
- ※⑥ 板書に必要なチョーク、黒板に掲示するためのマグネットを準備していますので必要に応じて使用してもかまいません。
- ※⑦ 教科書は持参できません。
- ※⑧ 模擬授業終了後に、模擬授業・教科に関する内容についての質疑応答を行います。

2 当日持参するもの

掲示物

※チョーク、マグネットは、教室内に準備してあります。

令和3年度実施 実技試験の課題
【高等学校・家庭】

1 実技試験課題（調理）

課 題	<p>調理実習「いり鶏」における材料の切り方について、下記の材料の切り方及び下処理が必要なものには適切な下処理の方法について、安全面、衛生面の指導も含めて生徒へ説明しながら実演を行ってください。</p> <p><条件></p> <p>①材料の切り方は下記のとおりとする。</p> <p>鶏 肉 : そぎ切り ごぼう : 乱切り こんにゃく : たづな切り さやえんどう : 斜めに半分</p> <p>②お湯はポットに準備されているものから、必要量を使用する。 ③切って下処理を施した食材を、バットに並べる。 ④調理台は一人1台とし、熱源は2個とする。</p>
時 間	<p>準備（材料、調味料、調理器具の確認、お湯の準備等）（2分間）</p> <p>実技試験 （10分間）</p>

2. 当日調理室に用意されているもの

(1) 指定された具材と分量（1人分）			
鶏肉（もも肉）	75 g	ごぼう	40 g
こんにゃく	50 g	さやえんどう	7 g
(2) 調味料、器具類等 ※（ ）内は個数			
①包丁(1)	②まな板(1)	③皮むき器(1)	④ざる(2)
⑤ボウル(2)	⑥ミルクパン(1)	⑦雪平鍋(1)	⑧バット(1)
⑨食器用布巾	⑩台拭き用布巾	⑪塩	

3 当日持参する物

受験票、エプロン、三角巾、手拭き

【注意事項】

- ※①準備されている材料、調理器具以外の使用は認めない。
- ※②40人学級での実演を想定し、教師は師範台で説明しているとする。ただし、試験監督は生徒役ではありません。
- ※③食物の実技試験に続き、被服の実技試験を行う。

令和3年度実施 実技試験の課題
【高等学校・家庭】

1 実技試験課題 (被服)

課 題	<p>ハーフパンツ製作実習での「パッチポケットの縫い付け」におけるミシンを使ったステッチの手順について、安全面の指導も含めて実演して下さい。</p> <p>ただし、ステッチの図案は型紙のとおりとし、ミシンを使用して説明を行ってください。</p> <p><条件></p> <p>①下糸巻き、ミシンの調整、布のアイロンは準備時間に行う。</p> <p>②布 (22.5cm×45cm) は二つ折りにし、二枚重ねて縫う。</p> <p>③布の表面に別添の図案をしるしをつける。</p> <p>④図案の位置は指定しないが、布端と並行になるように配置する。</p> <p>⑤図案の縫い方について、ミシンを操作しながら生徒へ説明する。</p> <p>⑥縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。</p> <p>※上記以外は任意とする</p>
時 間	<p>準備 (下糸を巻く、上糸のセット・調整、布のアイロン) (5分間)</p> <p>実技試験 (7分間)</p>

2. 当日試験教室に用意されているもの

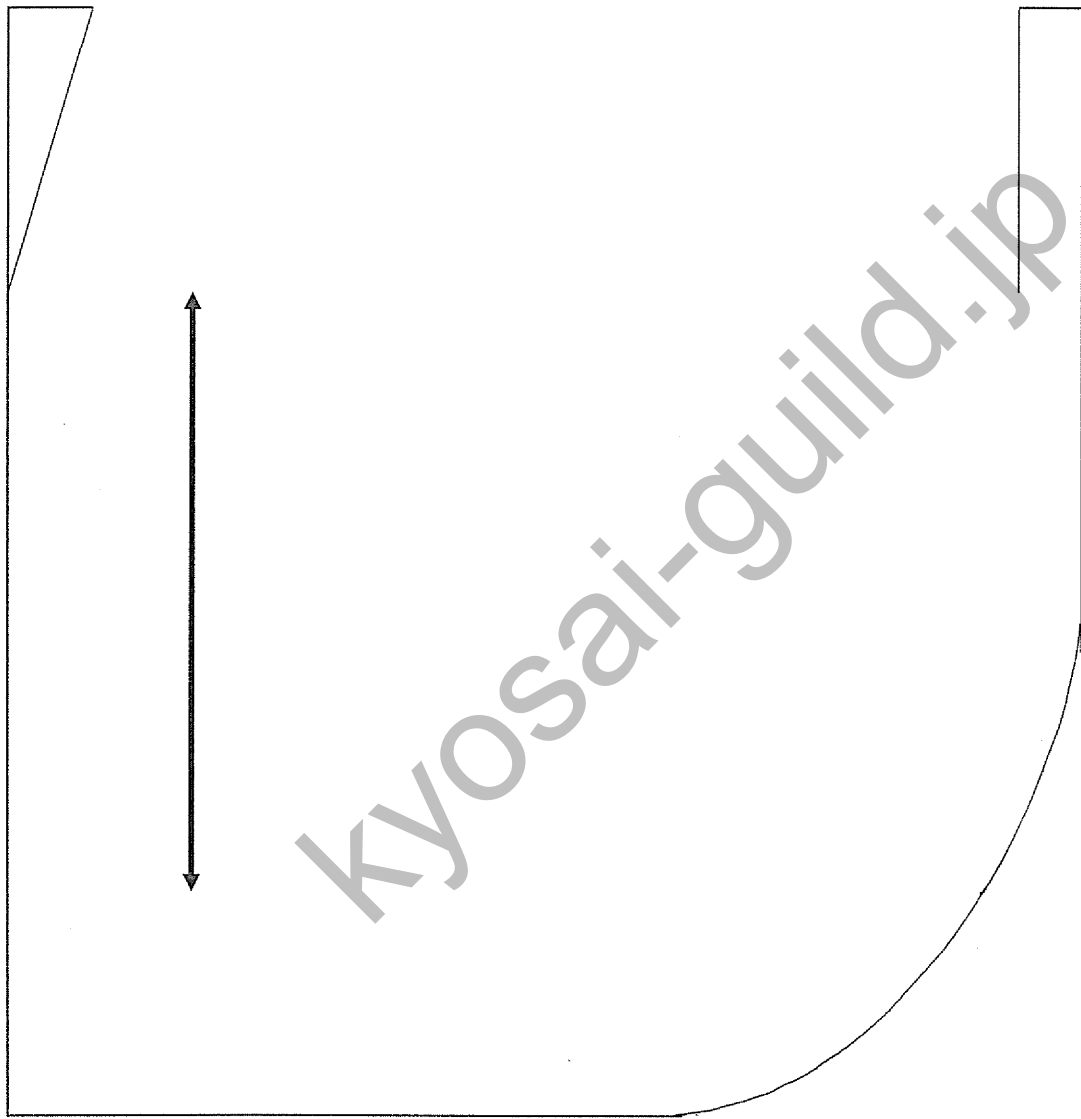
- ①布 (22.5cm×45cm) ②図案 (別添参照) ③ミシン (ミシン針) ④ミシン糸 (黒1個)
⑤ボビン (糸が巻かれていないもの) ⑥アイロン ⑦アイロン台 ⑧試し縫い用布

3 当日持参する物

受験票、ものさし、チャコ (チャコペン)、ルレット、チャコペーパー、糸切ばさみ、リッパー、まち針、針山

【注意事項】

- ※①準備されている材料以外の使用は認めない。
- ※②40人級での実演を想定し、生徒には手元を見せて説明しているとする。ただし、試験監督は生徒役ではありません。
- ※③食物の実技試験に続き、被服の実技試験を行う。



(原寸大)

縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする